従業者向け

放課後等デイサービス評価表

※ 6 名回答しています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環		利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切	6		放課後等デイサービスを運営する上での規定に基づ
境	1	であるか。	100%	0%	いて活動スペースを確保している
-54		利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数	6		放課後等デイサービスを運営する上での規定に基づ
	2	 は適切であるか。	100%	0%	いて職員を配置している
体	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環			V CIMO CIDEO CV G
制		境になっているか。また、事業所の設備等は、障害	6		
整		の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境			
備		上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	
		生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっ			
	4	ているか。また、こども達の活動に合わせた空間と	6		-
		なっているか。	100%	0%	
	_	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用す	6		
	6	ることが認められる環境になっているか。	100%	0%	
業		業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定	6		
務		と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	
改		保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握	6		評価表によりアンケートを実施して職員全体へ周
善	7	する機会を設けており、その内容を業務改善につな			知・検討し、業務改善に努めている
		げているか。	100%	0%	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内	6		
	9	容を業務改善につなげているか。	100%	0%	
		第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善	1	5	第三者評価は現段階では行っていない
		につなげているか。	17%	83%	hidaya (b. dalar
		職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機	6		外部研修へ参加している
		会や法人内等で研修を開催する機会が確保されてい 	1000/	201	感染症等の状況を見て研修への参加や外部講師を招
\ **		るか。	100%	0%	いた実践的な研修を行っていく
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6 100%	0%	
切		 個々のこどもに対しアセスメントを適切に行い、こ	10070	0 70	アセスメントをとり、職員会議等で意見交換を行
な・		どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上	6		アピスプライでという、「職員会議寺と思元文]英で1] い、個別支援計画を作成している
支		で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	で、個別又版計画で作成している
援	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童	10070	0 70	
の		 発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関	6		
提		 わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を			
供		 考慮した検討が行われているか。	100%	0%	
		放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計	6		
	14	画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	
		こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを			
	15	用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観	6		
		察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用			
		する等により確認しているか。	100%	0%	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサー			
		ビスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供			
		すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移	6		
		行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び			-
		支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項			
		目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容			
		が設定されているか。	100%	0%	
	17	 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	001	-
	18		100%	0%	
		活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	007	-
			100%	0%	

		こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜			
	19	組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、	6		
	19		1000/	0%	
		支援が行われているか。 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日	100%	0%	
	20	行われる支援の内容や役割分担について確認し、	6		
	20	チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	
		ナーム C 連携して又接を行っているか。 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その	100%	070	
	21	日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共	6		
	21	有しているか。	100%	0%	
		日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援	6	0 70	
	22	の検証・改善につなげているか。	100%	0%	
		定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービ	100 /0	0 70	
	23	ス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを	6		
		行っているか。	100%	0%	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本	6	0 70	
		活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	
		こどもが自己選択できるような支援の工夫がされて	10070	0 70	
	25	いる等、自己決定をする力を育てるための支援を	6		
		行っているか。	100%	0%	
関		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係			
係	26	機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した	6		
機		 者が参画しているか。	100%	0%	
関					医療的ケアが必要である場合には情報を事前に提供
		地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障	5	1	して頂き、緊急時対応できるよう備えている
や	27	害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を			必要に応じて情報提供書を作成し、保護者承諾の下
保		行う体制を整えているか。	83%	17%	で医療機関へお渡ししている
護		学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こ			学校へのお迎え時に情報共有を行っている
者	28	どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対	6		 必要に応じてケース会議を行い、連携を図っている
ک		応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	100%	0%	
の		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども			感染症等の状況を見て、開催へ繋げていきたいと考
連	29	園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互	6		えている
携		理解に努めているか。	100%	0%	
		学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉	6		
	30	サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援			
		内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要	5	1	西区にない為、連携しにくい状況である。機会があ
	31	等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機			れば取り入れたい。
		会を設けているか。	83%	17%	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の	6		感染症等の状況を見て、交流の機会を設けたいと考
		こどもと活動する機会があるか。	100%	0%	えている
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1 70/	業務との兼ね合いで難しいこともあるが、できるだ
		 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、発達の	83% 6	17%	け参加している。
	34	対況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時に情報共有や連絡事項を伝達し、モニタリン
		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して	10070	0 70	グ・担当者会議にて今後の方針も含めお話している
		家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)	6		
	35	や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を	U		
		行っているか。	1000/	0%	
<i>(</i> □		11 7 Cいるか。 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について	100%	U%0	
保	36	丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	
護		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こど	100 /0	0 /0	
者		おや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優	6		
^	37	も7年設有の息志の算里、こともの販普の利益の優 先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確	6		
の		元ち慮の観点を踏まれて、こともや家族の息向を確認する機会を設けているか。	1000/	00/	
説			100%	0%	
明		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内	6		
等	38	容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス	-		
		計画の同意を得ているか。	100%	0%	

	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		必要に応じて面談・相談の時間を設け、対応している
			100%	0%	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開			
		催する等により、保護者同士で交流する機会を設け	6		
		る等の支援をしているか。また、きょうだい同士で			
		交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を			
		整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情	6		
		があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1000/	00/	
			100%	0%	
		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活	_		毎月おたよりを発行する他、ホームページで情報を
	42	用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制	6		発信している。必要時には文書での配布、メールに
		等の情報をこどもや保護者に対して発信している			て連絡を行っている
		<i>እ</i> ን。	100%	0%	
			6		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		
			100%	0%	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝	6		
	44	達のための配慮をしているか。			
			100%	0%	
		 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開か	6		ハロウィンやクリスマスのイベントへの招待、地域
	45	れた事業運営を図っているか。	0		の作品展示に参加している。感染症等の状況次第
		100年末年日で四クでいるが。	100%	0%	で、運営を図っていきたいと考えている。
非	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯			
常		マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職	6		
時		員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓			
等		練を実施しているか。	100%	0%	
の	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災	6		
対		害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な	0		
応		訓練を行っているか。	100%	0%	
//-		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこども	6		服薬状況については定期的に確認し聞き取りしてい
		の状況を確認しているか。	100%	0%	వ
	49	 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示	6		契約時にアレルギーに関することを聞き取りし、保
		書に基づく対応がされているか。			護者と密に連携しながら対応している。
			100%	0%	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、	6		
		その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分され			
		た中で支援が行われているか。	100%	0%	
	52	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図ら	6		
		れるよう、安全計画に基づく取組内容について、家			
		族等へ周知しているか。	100%	0%	
		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向け	6	00/	
		た方策について検討をしているか。 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する	100%	0%	
	53	には付て的正9 るだめ、職員の5所修成去で確保9 る等、適切な対応をしているか。	6 100%	0%	
		等、週切な対応をしているか。 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかにつ	100%	U70	契約時に保護者へ説明を行い、個別支援計画へ記載
		いて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十	6		
	54	分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス			している
		計画に記載しているか。	100%	0%	
		口当に己我しているが。	100 /0	J /0	